

かたすみの意しき

公集小学校 四年二組 磯本 一穂

防災とは、地しんや津波や大雨などの自然災害や、火事などにそなえて安全をかくほする事です。

私が災害と聞いてまず最初に思いうかぶのは大雨です。なぜなら、何年か前に大雨で道路が水につかって車が通れなくなったり、土しやくずれが起きて線路がふさがれてしまったりした覚えがあります。つい最近も、大雨

けいほうがたびたび出ていたからです。

私の家は大きな川のそばにあるので、大雨がふるたびに川があふれないかハラハラします。もしも川の水があふれて家の中に水が入ってきたら大変なので、川があふれる前にひなんしなけばなりません。そのため、お父さんとお母さんは市の防災メールに登録して、災害のお知らせを受けとれるようにしています。

川があふれる前にひなんすること、家から

すぐにひつようなにもつを持ち出せるように
じゅんびしておくと、私の家は犬をかって
いるので、犬も受け入れてくれるひなん場所
を調べておくことなど、やるべきことはたく
さんあります。

それから大雨や台風はニュースなどメデイ
アで知ることができるので前もってひなんの
じゅんびができません。しかし、地しんはとつ
ぜんなので、起きた時にどうするかを考えて
いないとパニックになつて何もできなと思

います。もしかしたら私が学校にいる時に起
こるかもしれないし、家族がいない時に起こ
起こるかもしれない。そんな時にどうする
のか家族で約束を決めておくことが大切だと
思います。

学校であつた火事のひなんくん練で、おは
しもを習いました。「おさない」「はしら
ない」「しゃべらない」「もどらない」の四
つの言葉の頭文字です。最後の「もどらない
は、他の災害にも大切なことだと思

荷物を取りに家に帰った方があぶない目にあ
いそうだからです。

災害は起こらないのが一番いいけど、もし
もにそなえておくことは大切です。防災への
意しきを高めるために私がすることは、学校
のひなん訓練を真けんにする、災害の二ユ一
スがあれば、どんなことが起きたのか聞いた
り読んだりしておくことです。そして「災害
はいつ起こるか分からない。起こった時に自
分はどう行動するのか。一番に守らないとい

けないのは自分の命だ」ということを頭のか
たすみに、いつもおいておくことです。その
かたすみにおいている防災への意しきが、い
つもあることで、もしもの時に大きく働いて、
災害から身を守ることにつながるのだと思ひ
ます。

今日、さくそく家族で話し合あなくては。